

タイトル	「沼津ユネスコサマースクール」の開催 ～「ESD 国際交流プログラム」を終えて感じたこと～
実施日時	平成30年 7月16日 (月・祝) 開会14時～
場 所	沼津市立図書館 4階 第1・第2講座室 (沼津市三枚橋町9番1号)
主 催	沼津ユネスコ協会 (代表) 会長 原 博男 TEL 055-951-0286
問 合 せ	(事務局) 沼津市文化振興課 TEL (直通) 055-934-4812 (内線) 2793

## 1 主 旨

インドネシアのジャカルタで国際交流プログラムに参加した女子高生の体験談を聞き、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、文部科学省と日本ユネスコ国内委員会が勧める、「ユネスコスクール」について学習するきっかけを作り、理解を深めるとともに、静岡県東部のユネスコスクール同士の連携を目指します。

## 2 内 容

- ① 日 時 平成30年7月16日(月・祝)  
13:30開場 14:00開会(15:30終了予定)
- ② 場 所 沼津市立図書館 4階 第1・第2講座室
- ③ 入 場 料 無料
- ④ 申し込み 不要(直接会場へお越しください。)
- ⑤ 出 演 者 不二聖心女子学院 3年生 藤井 もあな さん  
// 1初対面担当 中山 駿 先生

## 3 その他

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、2010年度より三菱UFJ銀行協力のもと、ユネスコスクールと持続可能な開発のための教育(ESD)の普及を目的として高校生による海外交流事業を実施しています。

第8回ESD国際交流プログラムの全国募集において、審査の結果選ばれた12名が、平成30年3月24日～31日、インドネシアのジャカルタを訪問し、現地ユネスコスクールの高校生等と交流してきました。

参加者の一人、不二聖心女子学院(裾野市)の藤井 もあな さんに、参加して感じたことなど体験談を、映像資料とともに発表していただき、ユネスコスクールやESDについて理解を深めるための学習会を開きます。

※沼津ユネスコ協会は、教育、文化の振興を通じて世界平和に貢献するというUNESCOの活動を地域レベルで実践する団体です。

沼津ユネスコ協会

# 沼津ユネスコサマースクール

今年3月、日本全国の応募者から選ばれた12名の高校生が見識を広めるための国際交流プログラムで海外(ジャカルタ)派遣に参加しました。

静岡県から参加した高校生を招いて、体験談を聞き「ユネスコスクール」や「ESD」(持続可能な開発のための教育)について知識を深めるための学習会を開催します。

ESD:Education for Sustainable Development

**と き : 平成30年7月16日(月・祝)**

**13時30分開場 14時開会**

**ところ : 沼津市立図書館 4階第1・2講座室**

**出演 : 不二聖心女子学院 3年生**

**入場無料**

**藤井 もあな さん**

～「ESD 国際交流プログラム」を終えて感じたこと～

ユネスコスクールの女子高生が、  
インドネシアのジャカルタの地で  
現地の学生たちとの交流を通じて  
学んだことを発表していただきます。

不二聖心女子学院 1課1課-担当

**中山 駿 先生**

ユネスコスクールって何だろう？  
不二聖心女子学院はどんな活動をして  
いるのか？  
現在の取り組みを発表していただきます。

※駐車場に限りがありますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

**主催 : 沼津ユネスコ協会**  
(事務局 055-934-4812)

**共催 : 沼津市教育委員会**



## ユネスコスクールとは

ユネスコスクールは、1953年、ASPnet(Associated Schools Project Network)として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。2018年には65周年を迎えます。世界181カ国で約10,000校がASPnetに加盟して活動しています。日本国内では、2018年2月現在、1,033校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。日本では、ASPnetへの加盟が承認された学校を、ユネスコスクールと呼んでいます。ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。

### 1. ユネスコスクールの活動目的

- ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワークの活用による世界中の学校との交流を通じ、情報や体験を分かち合うこと
- 地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと

### 2. 参加している学校

- 公立私立を問わず、ユネスコの理念に沿った取組みを継続的に実施している、就学前教育・小学校・中学校・高等学校・技術学校・職業学校、教員養成学校

### 3. 参加校に求められること

- 法的拘束や義務はありませんが、積極的な活動が求められます。
- 年に一度、日本ユネスコ国内委員会に報告書の提出が必要です。
- ユネスコが提案する教材が送られ、教育現場での実験・評価を依頼されることがあります。
- ユネスコから年に数回、世界のユネスコスクールの活動報告が記載されている情報誌が送付されるとともに、ユネスコが行う様々な活動に参加する機会があります。

文部科学省および日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを[持続発展教育\(ESD:Education for Sustainable Development\)](#)の推進拠点と位置づけ、加盟校増加に取り組んでいます。

### 静岡県東部のユネスコスクール (2018年7月現在)

学校名	所在地	加盟登録
伊豆市立天城中学校	伊豆市月ヶ瀬	2010年
星陵中学校・高等学校	富士宮市星山	2011年
不二聖心女子学院	裾野市桃園	2012年
県立伊豆総合高等学校	伊豆市牧之郷	2012年
富士市立岩松北小学校	富士市岩本	2013年
富士宮市立富士宮第二中学校	富士宮市豊町	2017年